

2023年度

同志社スポーツユニオン

連 絡 協 議 会



2023年12月2日  
於 からすま京都ホテル



# 同志社スポーツユニオン役員

2023年7月26日

## 〔名誉会長・最高顧問〕

名誉会長	北村 光雄	1952年 (昭和27年)	卒・相撲部
最高顧問	濱直 樹	1966年 (昭和41年)	卒・アーチェリー部
最高顧問	豊原 洋治	1964年 (昭和39年)	卒・バドミントン部

## 〔執行部〕

会長	藤原 卓也	1980年 (昭和55年)	卒・柔道部
副会長	井山 雅夫	1977年 (昭和52年)	卒・カヌー部
副会長・関東支部長	中桐 輝成	1976年 (昭和51年)	卒・ラグビー部
副会長・東海支部長	小栗 成男	1987年 (昭和62年)	卒・ゴルフ部
理事	野田 聡	1992年 (平成4年)	卒・柔道部
副理事	佐長 仙	1984年 (昭和59年)	卒・ゴルフ部
副理事	元井 剛彦	1987年 (昭和62年)	卒・レスリング部
副理事	梅新 勝	1988年 (昭和63年)	卒・硬式野球部
副理事	山口 薫裕	1991年 (平成3年)	卒・硬式野球部
副理事	淵村 英子	1991年 (平成3年)	卒・アーチェリー部
副理事	田松 昌孝	1992年 (平成4年)	卒・フェンシング部
副理事	平岡 成子	1992年 (平成4年)	卒・スキー部
副理事	馬場 圭介	1997年 (平成9年)	卒・アメリカンフットボール部
副理事		2000年 (平成12年)	卒・ラクロス部

## 〔監事〕

監事	福川 雅之	1986年 (昭和61年)	卒・ゴルフ部
監事	近藤 千晴	1989年 (平成1年)	卒・ラグビー部

## 〔相談役・常任顧問〕

相談役	入江 平治	1952年 (昭和27年)	卒・水泳部
相談役	小松 山本	1958年 (昭和33年)	卒・バレーボール部
相談役	大島 正	1960年 (昭和35年)	卒・スキー部
相談役	岸本 寅	1960年 (昭和35年)	卒・フェンシング部
相談役	川本 晃	1962年 (昭和37年)	卒・バドミントン部
相談役	宮丸 勝一	1965年 (昭和40年)	卒・陸上競技部
相談役	久野 丸	1965年 (昭和40年)	卒・ボート部
相談役	安元 敏彦	1966年 (昭和41年)	卒・ゴルフ部
相談役	大日 豊	1968年 (昭和43年)	卒・柔道部
相談役	高塚 常	1970年 (昭和45年)	卒・山岳部
相談役	山本 武	1971年 (昭和46年)	卒・準硬式野球部
相談役	村口 雄	1971年 (昭和46年)	卒・軟式野球部
相談役	西村 幸	1972年 (昭和47年)	卒・ラグビー部
相談役		1972年 (昭和47年)	卒・陸上競技部

常任顧問	榎野 広美	1973年 (昭和48年)	卒・射撃部
常任顧問	宇野 貴	1973年 (昭和48年)	卒・スキー部
常任顧問	江川 京	1975年 (昭和50年)	卒・バドミントン部
常任顧問	北田 京	1976年 (昭和51年)	卒・ソフトテニス部
常任顧問	中村 兵衛	1977年 (昭和52年)	卒・アーチェリー部
常任顧問	福村 秀	1978年 (昭和53年)	卒・バスケットボール部
常任顧問	中正 公	1978年 (昭和53年)	卒・ラグビー部
常任顧問	中山 公	1979年 (昭和54年)	卒・自動車部
常任顧問		1985年 (昭和60年)	卒・弓道部
常任顧問		1987年 (昭和62年)	卒・アーチェリー部

## 同志社スポーツユニオン委員会組織表

2023年11月30日

委員会名	担当業務	委員長	副委員長	委員
競技力向上委員会	① 強化のための条件整備 ② 大学・スポーツ支援課及び監督会との連携 ③ 法人諸学校との連携強化 ④ 技術力・精神力の向上のための講習会実施	(副理事長) 長田 敬市 1984 (S59) ゴルフ	滋谷 卓弥 1981 (S56) 硬式野球	岡本 裕 2001 (H13) リンク 青藤 俊 1997 (H9) バドミントン
総務委員会	① 総務全般 (事務局連携含む) ② スポーツユニオン活動方針クローズアップ強化 ③ 会則の修正、検討見直し ④ 各委員会との連携強化 ⑤ 各部協力体制の支援 (情報提供、活動活性化、スポーツユニオン不参加部への支援) ⑥ 「2025ALL DOSHISHA 募金(同志社21スポーツユニオン募金)」に関する件 ⑦ その他総務委員会に関する業務	(副理事長) 松村 昌子 1992 (H4) スキー	(副理事長) 馬場圭吾 2000 (H12) ラクロス	中西 幸 1988 (S63) 準硬式野球 林 諒子 2008 (H20) 剣道 上山(和泉) 薫 2017 (H29) 7-フェリー
事業委員会	① ゴルフ大会(年1回)の開催 校友会リユニオンゴルフ大会運営サポート ② 対外事業の企画(関関同立スポーツ役員懇親会他) ③ 祝勝会(毎年1月最終土曜日)、総会(毎年6月、1月)の開催 ・祝勝会の新企画(各委員会連携)を実施 ・祝勝会は競技力向上委員会連携にて表彰基準、表彰形式の見直し ④ その他組織事業委員会に関する業務	(副理事長) 平岡 成介 1997 (H9) アメリカンフットボール	(副理事長) 梅井 勝彦 1988 (S63) 硬式野球	南野真寛 1991 (H3) アメリカンフットボール 木下正大 1999 (H11) ラグビー 野斗 弓子 2007 (H19) 射撃
企画委員会	① 当会の全般に関わる企画・立案業務 ② スポーツユニオン組織体制整備業務 ③ 同志社スポーツユニオン名鑑発刊に関する検討 ④ 同志社スポーツの広報(周知)活動業務 (卒業生・現役への当会歴史の周知を行い未来へ) ⑤ その他スポーツユニオン全般に関わる企画業務	企画委員会と名鑑(名簿)委員会を合体 (副理事長) 仙元 剛 1987 (S62) リンク	(副理事長) 馬場圭吾 2000 (H12) ラクロス	金田麗那 2008 (H20) アメリカンフットボール
財務委員会	① 財務全般業務(予算、決算立案管理、終身会費、分担金) ② 各予算提案他⇒各委員会の積極的な分金支援 ③ HPウェブサイトサポーター、パンフレットに関する窓口作業 ④ その他財務委員会に関する業務	(副理事長) 田淵英孝 1992 (H4) フェンシング	陸月陽子 1999 (H11) 硬式野球部	牧本亜紀 1991 (H3) 陸上サッカー
編集局	① 同志社スポーツユニオンホームページの運営 ② Facebook『Doshisha Sports Fanpage』の運営 (同志社スポーツアトムと共同) ③ ウェブサイトサポーター・ホームページ広告等の充実	(副理事長) 山口裕子 1991 (H3) 7-フェリー	牧本亜紀 1991 (H3) 陸上サッカー	鳴海 葵 2017 (H29) フェンシング
青年幹事委員会	① 関西在住の次世代を担うOB・OGの組織確立・運営 ② 各委員会、OB・OG会との連携強化 ③ その他青年幹事会に関する業務	(副理事長) 新井薫子 1991 (H3) 硬式野球	和歌清史 2004 (H16) 硬式野球	鳴海 葵 2017 (H29) フェンシング
学生支援担当	① 体育会本部支援 ② その他現役の学生自治支援に関する事	(常任顧問) 正村公一 1979 (S54) 自動車	辻井智紀 2017 (H29) ラグビー	

各会メンバー  
 \* 執行役員: 会長・副会長・理事長・副理事長  
 \* 委員会委員: 委員会に所属する委員  
 \* 名誉会長・最高顧問・相談役・常任顧問: 会長が適宜召集を依頼する

機関	担当業務	役職	メンバー
諮問機関 (コンプライアンス会議)	コンプライアンス全般	相談役 座長 委員 委員 委員 委員	丸山英敏1965 (S40) ボート・弁護士 松倉功治1996 (H 8) 硬式野球・弁護士 朴 大俊 1998 (H10) 陸上競技・弁護士 馬場智康1998 (H10) 射撃・弁護士 新藤勇介2000 (H12) 柔道・弁護士 馬場圭吾2000 (H12) ラクロス・弁護士

2023年12月2日  
於:からすま京都ホテル

## 連絡協議会次第

10:00～12:00

(司会) 佐野理事長

開会挨拶

藤原会長

ご挨拶

下楠学生支援センター所長

議 題

- 1 体育会活動方針と年間行事予定について
- 2 学生支援について
- 3 同志社大學應援團の活動方針と予定について
- 4 スポーツ支援についての近況
- 5 監督会報告

体育会本部・スポーツアトム編集長

正村常任顧問・学生支援担当

山梨OBOG会長・應援團團長

河村スポーツ支援課長

樋口監督会幹事長

- 6 スポーツユニオン報告
  - ・民間ジム利用について
  - ・コンプライアンス会議より

佐野理事長

講 評

濱最高顧問

## 2023年度現役学生を囲む懇親会

12:15～

(司会) 佐野理事長

開会挨拶 ならびに連絡協議会ご報告

藤原会長

体育会本部、應援團役員紹介・挨拶

乾 杯

豊原最高顧問

(お食事・歓談)

カレッジソング

同志社大學應援團OB・OG会  
稲田秀一 名誉会長

閉会挨拶

小栗副会長・東海支部長

2023年12月2日(土)

2023年体育会本部活動報告

同志社体育会本部

【年間行事】

- 1月 ユニオン祝勝会
- 2月 東西会議 /フォローアップ研修会 /第71回 同志社大学・立教大学総合定期戦閉会式
- 3月 体育会表彰式 /体育会総会 /スタートアップオリエンテーション
- 4月
- 5月 コンプライアンス研修会 /硬式野球部春季同立戦
- 6月
- 7月 第72回 同志社大学・立教大学総合定期戦開会式
- 8月 フレッシュャーズキャンプ
- 9月
- 10月 硬式野球部秋季同立戦
- 11月 スポーツフェスティバル
- 12月 リーダーズキャンプ
- \* 毎週火曜日常任委員会
- \* 毎月第3月曜日主将主務会議

・コンプライアンス研修会

本年はすべての体育会員を招集し、対面で行いました。主に報道のされ方、周りからの見え方について、外部から講師の方を招き講演していただきました。コンプライアンスについて各々が学び、理解を深めることのできた研修会となりました。

・第72回 同志社大学・立教大学総合定期戦開会式

本年は同志社大学寒梅館ハーディーホールにて第72回同志社大学・立教大学総合定期戦開会式を行いました。新型コロナウイルスが収まり、本年から両校応援団による演舞が行われ、開会と同時に盛り上がり良いスタートを迎えることができました。また2月には立教大学にて閉会式を予定しております。

・フレッシュャーズキャンプ

本年は例年とは違い同志社大学京田辺キャンパスでの開催を行いました。午前中は今後4年間の目標、同志社大学体育会に入ったその意義、自覚を持たせることを目的としたグループワークを行いました。また、午後からは横のつながりを持たせることを目的にデイヴィス記念館にて大規模な班対抗のレクリエーションを行いました。

・ スポーツフェスティバル

地域の方々、子どもたちを対象に同志社大学の体育会をよりよく知ってほしい、様々な競技を体験してほしいという趣旨のもとスポーツ体験教室を行っています。本年はアメリカンフットボール部、サッカー部、卓球部、ゴルフ部、ボクシング部の5部活にご協力いただきました。今後はさらに競技数を増やし、周知していきたいと思えます。

・ リーダーズキャンプ

今年は「自分に合ったリーダーシップの発揮」をテーマとし、主将主務が自己分析・理解をし、リーダーシップを体系的に理解する中で、自分の個性に合ったリーダーシップの種類や発揮の仕方・場面を学びました。また、会議の中で自分の悩みを共有し、他部活の主将主務の行動や考えを吸収する機会となりました。対面・宿泊での開催ということもあり、主将主務にとって意義のある意見交換や情報共有ができる場となりました。

## 2024年度体育会本部方針

2023年12月3日  
体育会本部

### 本部スローガン 『LINK』

#### <体育会>

同志社大学体育会会員は、競技と学業を両立し、「一国の良心」と言われるにふさわしい「智」「徳」「体」の調和のとれた人物になることが求められる。また、コンプライアンス遵守はもちろん、学生生活を通じて出会う全ての人々に感謝や尊敬の念を抱き、多くの人々から応援される存在になる必要もある。そのため、1人1人が同志社大学体育会会員としての自覚と責任を持つだけでなく、自身の成長と同志社大学体育会の発展に尽力することが出来るよう育成する組織を目指す。

#### <体育会本部>

上記のような、人間的に自立した、社会から求められる人物を育成する場としての体育会を実現すべく、下記の点を中心に精力的に活動する。

#### 同志社大学体育会会員同士の深い繋がり形成と充実した日々の実現

コロナによる活動制限がなくなり、体育会全体での繋がり希薄さが明白となっている。そのため、本部が中心となり様々な行事を通して、部ごとの交流、最終的には体育会全体での繋がり強化し、同志社大学体育会会員であることの自覚と責任を持たせる。そして、会員同士、互いを尊敬し刺激し合い、自身の競技により一層注力することで、これまでとは異なった、多角的な繋がりによる充実した日々の実現を目指す。

#### コンプライアンス遵守の徹底

昨年度のアメリカンフットボール部の不祥事をはじめ、他大学での薬物問題、傷害事件など近年、体育会学生のコンプライアンス意識を問われる問題が多数発生している。そのため、同志社大学体育会員のコンプライアンス認識の確認と遵守を徹底していく。さらに、コンプライアンス研修会だけでなく、各部内での意識改革を促し、コンプライアンス意識の向上だけでなく、全ての体育会会員が同志社大学体育会の一員としてあるべき姿を体現し続けることを目指す。

#### 体育会本部の効率化

近年、役職者を中心に一部の本部員に仕事が偏ってしまい、心身不調となってしまうことが問題となっている。そのため、本部内での情報共有の徹底と本部員1人1人が互いを思いやる心と責任感を持ち、全員で同じ方向を向いて活動出来る組織を目指す。また、スポーツ支援課や同志社ユニオンとの連携をより一層強化し、より良い同志社大学体育会となるよう努める。



役職	名前	所属部	学年	学部/学科
委員長	飯田 要次郎	自転車競技部		4 文学部国文学科
副委員長	佐伯 美月	居合道部		4 社会学部教育文化学科
副委員長	岡田 愛結	空手道部		4 スポーツ健康科学部
会計部長	三谷 向日葵	体操競技部		4 商学部商学科
広報部長	岡崎 満美	ボードセイリング部		4 法学部法律学科
総務部長	松永 航平	剣道部		4 スポーツ健康科学部
渉外部長	真辺 豪大	相撲部		4 商学部商学科
総務	矢野 巧	陸上ホッケー部男子		4 法学部法律学科
会計	太田 亮爾	陸上競技部		4 スポーツ健康科学部
総務	竹之内 駿希	トライアスロン部		3 文学部哲学科
総務	林 美久	ハンドボール部		3 文学部英文学科
総務	山澄 優生	日本拳法部		3 経済学部経済学科
総務	志村 宗	レスリング部		3 商学部商学科
総務	藤田 幸佑	ラグビー部		3 スポーツ健康科学部
総務	岡本 美祐	弓道部		3 政策学部政策学科
総務	渡邊 凌太郎	硬式野球部		3 政策学部政策学科
渉外	城田 康貴	少林寺拳法部		3 社会学部産業関係学科
渉外	岩田 有咲	フィギュアスケート部		3 経済学部経済学科
渉外	樹木 美玖	ラクロス部		3 法学部法律学科
渉外	中村 海斗	準硬式野球部		3 社会学部産業関係学科
会計	山下 美空	ヨット部		3 法学部法律学科
会計	川嶋 深	アーチェリー部		3 スポーツ健康科学部
広報	田中 雄大郎	ボウリング部		3 理工学部化学システム創成工学科
広報	城山 歩美	スポーツアトム編集局		3 商学部商学科
広報	西村 早智	スポーツアトム編集局		3 文学部美学芸術学科
総務	北原 礼菜	ボート部		2 政策学部政策学科
総務	荒川 諒太	居合道部		2 経済学部経済学科
総務	吉田 創太	ソフトテニス部		2 経済学部経済学科
総務	田籠 晋太郎	バスケットボール部		2 スポーツ健康科学部
渉外	浅田 光	軟式野球部		2 経済学部経済学科
渉外	岡本 好未	射撃部		2 スポーツ健康科学部
渉外	田代 悠大	航空部		2 文学部美学芸術学科
会計	小西 勇那	合気道部		2 文学部哲学科
会計	渡邊 天斗	バドミントン部		2 スポーツ健康科学部
会計	佐野 泰成	スピードスケート部		2 文学部文化史学科
会計	木下 雄太	ラグビー部		2 法学部法律学科
広報	北山 心響	フェンシング部		2 経済学部経済学科
広報	進藤 純世	卓球部		2 政策学部政策学科
庶務	横江 慶太郎	硬式野球部		1 法学部法律学科
庶務	小澤 真文	アイスホッケー部		1 法学部政治学科
庶務	河内 菜々佳	男子ハンドボール部		1 商学部商学科
庶務	中谷 一葉	ソフトボール部		1 政策学部政策学科
庶務	阿部 亮太	カヌー部		1 社会学部産業関係学科
庶務	村田 梨紗	水泳部		1 スポーツ健康科学部
庶務	黒田 周良	スポーツアトム編集局		1 商学部商学科
庶務	岡本 和香	スポーツアトム編集局		1 法学部法律学科
庶務	幸田 帆乃夏	アメリカンフットボール部		1 商学部商学科
庶務	光永 巧	ボクシング部		1 法学部政治学科
庶務	武山 颯良	ワンダーフォーゲル部		1 経済学部経済学科
庶務	上枝 優月	柔道部		1 政策学部政策学科
庶務	野木 僚真	サッカー部		1 商学部商学科
庶務	大西 美緒	女子バレーボール部		1 心理学部心理学科
庶務	伊東 誠吾	自動車部		1 法学部政治学科

## 同志社スポーツアトム編集局 活動報告

### 【2023 年度報告】

2023 年度は「駆け抜けた『瞬間』を1枚に」というスローガンのもと、イラストレーターによる紙面の充実化や体育会 OB・OG の皆さま・現役体育会の部員とより深い関わりを持つことを心掛け、同志社スポーツの広報に精進してまいりました。年4回の通常発行に加え、10月の硬式野球部同立戦号外の計5回発行いたしました。

年間企画につきましては、2015年度以降連載をしている「美学生図鑑体育会」を継続し、体育会の美男美女を取り上げ、試合会場以外での素顔に迫ってきました。また、4月の新入生歓迎号でも本学フィギュアスケート部 OB である友野一希氏のインタビューを掲載させていただきました。取材を通して、スポーツに真摯に取り組む大切さを改めて感じることができました。このようなありがたい機会をいただいたことは、スポーツユニオンのの方々をはじめとした、アトムにご支援をくださった皆さまのお力添えのおかげでございます。

また、今年度も昨年に引き続き「イラストレーター」を使って紙面の充実化だけでなく、数多くの号外を発行し、SNS や HP を利用して広報活動により一層力を入れてまいりました。私達が充実した活動を送ることができているのは目に見えないたくさんの方々のご支援があってこそのものだと思っております。

### 【発行内容】

- ・4月上旬 新入生歓迎号(6面) 3000部  
一面；フィギュアスケート部全日本V 美学生図鑑；新居龍聖（準硬式野球部 所属）
- ・5月下旬 硬式野球部同立戦特集号(6面) 2100部  
一面；硬式野球部特集 美学生図鑑；加田光（應援團 所属）
- ・9月下旬 夏の結果号(6面) 2000部  
一面；空手道部全日本王者 美学生図鑑；佐藤瑞起（サッカー部 所属）
- ・10月中旬 硬式野球部秋の同立戦号外(2面) 2000部  
美学生図鑑；今村蓮（硬式野球部所属）
- ・12月上旬 ラグビー特集号(12面) 8000部  
一面；ラグビー部特集 美学生図鑑；高嶋奈々美（ラグビー部 所属）

### 【来年度方針】

新年度を迎えるにあたって、アトムが体育会機関紙という位置にあることを改めて考え直します。先述した通り、スポーツユニオンの方々をはじめ多くの支援をいただいていたからこそ、続けることができたことです。アトムに関わる全ての方々に感謝の気持ちを持ち、スポーツの奥深さ、同志社の素晴らしさを伝えていきます。

また、来年度からは新スローガン「共闘」のもとで、アトムが読者の皆さまと各部をつなぐ架け橋となり、同志社スポーツを共に応援し、共に闘う仲間のような関係性の構築を目指してまいります。そのためにも、試合描写だけにフォーカスするのではなく、選手それぞれのバックグラウンドにも目を向け、胸を打つような記事の執筆、記憶に残る写真の撮影、目を引くレイアウトの作成を心がけます。キャンパス内にとどまらず、多くの方に同志社スポーツの魅力を広めることを目標に最大限の努力を行います。

### 【改善具体案】

- ・他大学との情報共有、連携
- ・イラストレーターによるレイアウトの充実化
- ・写真技術の向上
- ・より迅速な情報の伝達
- ・新聞の外部への売り込みや、設置依頼
- ・X（旧 Twitter）、Instagram など SNS を利用した広報活動
- ・局員同士の意思疎通の強化

改善点は多いですが、より良い新聞の発行、そして広報活動ができるよう、組織としても成長していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しく願いいたします。

同志社スポーツアトム編集局  
編集長 浅川 明日香

## スポーツユニオン報告

## 1. 今出川トレーニング施設（民間ジム）の利用について

- ・2023年6月

体育会所属の学生が今出川界隈でトレーニングができる場所を確保するため、スポーツユニオンがゴールドジムと法人契約を結び、各部利用希望有無を確認

- ・2023年7月～

全500枚（自己負担額 550 円）← 一般利用 2,750 のところ

第一弾として、繰り返し利用での効果を確認するためにも利用希望者が比較的少人数の5クラブを選定（ボードセーリング・自転車競技・ソフトボール・トライアスロン・スキー）。利用者各自に年内で効果をアンケートし、今後の対応決定する。

## 2. 同志社大学体育会 環境、施設に関する現状確認と課題

【これまでの経緯】

- 1) 2023年7月に各部 OB・OG 会長に「大学への要望、スポーツユニオンへの検討事項」アンケート調査を実施。
- 2) 結果をもとに10月12日大学スポーツ支援課ヒアリング、大学内体育施設の現地確認。

【今後の展開】

アンケート調査の意見（各部 OB・OG や指導者の意見）と現役学生の声の擦り合わせをし、スポーツユニオンとして大学や関係機関と交渉、対応策を検討していく

## ①今出川⇄京田辺間のシャトルバスに関する問題

- ・京田辺発の最終便時間が早すぎる。増便要望
- ・日曜、学校休講期間の運行

## ②国際大会出場、強化合宿参加等への講義試験の扱い、WEB 利用

## ③Wi-Fi 設備関係、必要性

## ④女子更衣室関係（デイビス・真誠館・テニスコート・ソフトボール場）

## ⑤今出川界隈トレーニング施設の必要性、岩倉校地等

## 3. 同志社スポーツユニオンコンプライアンス会議より（委員会組織表ご参照）

コンプライアンス会議 松倉座長・馬場委員

## 4. その他 組織の拡充

学生支援担当に辻井智紀氏 2017（ラグビー）元本部委員長

# 同志社スポーツユニオン会則

## 第1章 総 則

### 第1条 【目 的】

本会は同志社スポーツの振興と発展の為物心両面の援助を図ると共に、体育会各部 OB・OG 会の結束と相互の親睦を図り、母校の発展と充実に寄与することを目的とする。

### 第2条 【組織・名称】

体育会各部 OB・OG 会を以って組織し同志社スポーツユニオンと称する。

### 第3条 【事 業】

本会は第1条の目的を達成する為、次の事業を行う。

- 1) 祝勝会（毎年原則として1月に優秀部・優秀選手・各部々長・監督・コーチ等を招き開催）。
- 2) 親睦ゴルフ。
- 3) フレッシュヤーズキャンプ・リーダーズキャンプ等の援助と指導。
- 4) 会員名簿の企画。
- 5) その他。

## 第2章 会 員

### 第4条 【会 員】

体育会各部 OB・OG 会に所属する者。

## 第3章 機 関

### 第5条 【役 員】

本会に下記の役員を置く。

- 1) 会 長 1 名
- 2) 副 会 長 若干名
- 3) 理 事 長 1 名
- 4) 副理事長 若干名
- 5) 常任理事 各部より若干名
- 6) 理 事 各部より若干名
- 7) 監 事 2 名
- 8) 顧 問 各部より若干名
- 9) 名誉会長、最高顧問、特別顧問、名誉顧問、常任顧問、相談役を置くことができる。
- 10) 必要に応じて役職を置くことができる。

### 第6条 【役員を選任】

- 1) 会長・並びに理事長は、総会に於いて会員の中から選出する。
- 2) 副会長は、会長が指名する。
- 3) 副理事長は、理事長が指名する。
- 4) 常任理事・並びに理事は、各部OB・OG会からの選出、及び会長が委嘱した者を総会で承認を得る。
- 5) 監事は、総会に於いて会員の中から選出する。
- 6) 顧問は、各部OB・OG会からの推薦、及び本会に特に功労のあった者より会長が委嘱する。
- 7) 名誉会長、最高顧問、特別顧問は、会長が委嘱し、総会で承認を得る。役員任期は定めない。
- 8) 名誉顧問、常任顧問、並びに相談役は会長が委嘱し、総会で承認を得る。
- 9) 常任理事、理事、監事、顧問、名誉顧問、常任顧問及び相談役の任期は2年とする。但し、再任は妨げない。

### 第7条 【役員の仕事】

- 1) 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
- 2) 副会長は、会長を補佐する。
- 3) 理事長は、事業の実務の執行を指示し管理する。
- 4) 副理事長は、理事長を補佐する。
- 5) 常任理事及び理事は、具体的な実務の執行を行う。
- 6) 監事は、定時総会に於いて監査の結果を報告する。
- 7) 顧問は、重要事項につき会長の諮問に応じる。

### 第8条 【総 会】

- 1) 総会は、本会の最高意思決定機関とし、次に掲げる事項を決議する。
  - a) 事業報告及び収支決算
  - b) 事業計画及び収支予算
  - c) その他重要な事項
- 2) 総会は、定時総会及び臨時総会とし、定時総会は毎年2回6月と1月に開催する。
- 3) 臨時総会は、会長、もしくは常任理事会に於いて必要と認められたとき、又は加盟各部OB・OG会の3分の2以上の会員より要求のあった場合に開催する。

- 4) 会長は、総会を招集する時は総会日時・場所、及び会議に付議する事項を示し、招集期日の7日前迄に通知しなければならない。
- 5) 総会には各部OB・OG会々員は出席する事ができる。但し、議決権は各部1票とする。
- 6) 会長は議長となり議事の進行をはかり、議事は出席各部代表の過半数を以て之れを決し、可否同数の場合は議長が之れを決する。

#### 第9条 【議事録】

会長は事務局に依頼して総会の議事録を作成しなければならない。

#### 第10条 【役員会】

- 1) 会長・副会長・理事長・副理事長で構成し必要に応じて開催する。
- 2) 会長・理事長に任務遂行の支障が有る場合は、速やかに代行者を選出するものとする。

#### 第11条 【常任理事会】

会長は、必要に応じて常任理事会を開催することができる。

#### 第12条 【各部OB・OG会長会】

各部間の交誼を厚くし、スポーツユニオンの発展を助けるために各部OB・OG会長会議を設ける。運営規則は別にこれを定める。

#### 第13条 【支部】

- 1) 関東・東海在住のOB（OG）の親睦を計るとともに現役学生の支援に寄与するために、関東支部及び東海支部を設ける。運営規定は別に定める。
- 2) 名称は「関東同志社スポーツユニオン」及び「同志社スポーツユニオン東海支部」とする。

#### 第14条 【青年幹事会】

若い世代の活動への参画意識を高め、5年先、10年先の同志社スポーツを支える人材を育成、輩出することを目的に青年幹事会を設ける。運営規定は別に定める。

#### 第15条 【慶弔給付】

別途規定を定める。

#### 第16条 【委員会】

- 1) 理事長は、事業計画の内容に応じて専門委員会を設置し、事業の円滑な推進運営を行うことができる。
- 2) 理事長は、各専門委員会の委員長及び委員を指名することができる。

#### 第17条 【事務局】

同志社大学京田辺校地、京都府京田辺市多々羅都谷1-3に設置する。

#### 第18条 【事業計画】

本会の事業年度は毎年4月1日に始まり翌3月31日に終る。

### 第4章 経費及び会計

#### 第19条 【経費】

- 1) 会員は卒業時に規定の会費を納めなければならない。これを終身会費とする。
- 2) 本会の運営には、同志社スポーツユニオン基金の果実、及び寄付金、並びに終身会費を以て充当する。

#### 第20条 【管理】

同志社スポーツユニオン事務局に於いて管理する。

### 第5章 会則の改正

第21条 本会則は、総会に出席した各部代表の3分の2以上の同意がなければ改正することはできない。

#### {附則}

- 1) 本会は、同志社スポーツ全体の意思疎通を図る為、監督会、並びに体育会とにより連絡協議会を開催することができる。
- 2) 本改正会則は1997年1月25日より実施するものとする。
- 3) 会則一部改正 1998年1月31日 {附則}3) 改正
- 4) 会則一部改正 2003年6月7日 第3章第13条を付加(以下条項繰り下げ)
- 5) 会則一部改正 2004年6月5日 第3章第13条を付加(以下条項繰り下げ)・第16条改正
- 6) 会則一部改正 2008年6月7日 第3章第5条10)を付加
- 7) 会則一部改正 2009年1月31日 第3章第13条2)を付加・第14条を付加(以下条項繰り下げ)
- 8) 会則一部改正 2010年6月5日 第3章第13条1)2)改正
- 9) 会則一部改正 2011年6月4日 第4章第19条改正
- 10) 会則の一部改正 2014年6月7日 第3章第5条9)改正・第6条7)改正・第6条8)を付加
- 11) 会則の一部改正 2022年6月4日 第3章第5条5)6)8)改正・第6条9)を付加・{附則}3)4)5)7)8)9)10)改正・{附則}11)を付加